

釧路管内 標茶町立標茶中学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の職員による講話や、博物館展示の鑑賞、伝統料理の試食等の体験活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めるとともに、日本人として異なる文化をもつ人々を受容し、共生することのできる態度・能力を育成する教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

生徒がこれまで社会科で学習してきたアイヌの人たちの歴史・文化等に係る内容を整理し、系統的にまとめることで「ウポポイ」見学の視点を考える学習を行いました。

(2) 体験活動

学芸員によるレクチャー「はじめてのアイヌ博」や「ウポポイ」所蔵の展示資料の鑑賞、伝統料理の試食を通して、生徒一人一人が事前学習による見学の視点に基づき、アイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深めました。

(3) 事後の学習

「ウポポイ」での体験活動を通して生徒一人一人の興味・関心に基づき「何を学んだのか」を整理しました。とりわけ体験前と後で「何が変わったか」を重視してまとめを行いました。

3 生徒の感想等

- ・見学前に社会科で学んだ予備知識はありましたが、「ウポポイ」で各施設を見学すると知らないことがたくさんあることが分かりました。
- ・アイヌの人たちの文化は、今も生き続けている文化であると知りました。
- ・体験活動により社会科の学習だけでは分からないことを知ることができました。



【展示資料の鑑賞・調査】



【展示室にて学芸員から解説】



イペアン ロー!
(いただきます!)

【伝統料理の試食体験】